

磐田市相撲連盟

会員数 15名
代表者 会長・高橋 一良
設立年 昭和31年

【年間行事】

- ・元旦祭、土俵清め式
- ・年間優秀選手表彰式並びに卒業祝いの会
- ・各種対外相撲大会への参加
全国小中学生木曾福島大会
静岡県小学生すもう大会
会長杯中学生相撲選手権大会
わんぱく相撲県・全国大会
国民体育大会静岡県選考会（相撲の部）
静岡県相撲選手権大会
中体連県大会・東海大会相撲競技
全国都道府県中学生相撲選手権大会
しずおかスポーツフェスティバル 等
- ・若宮八幡宮奉納相撲・取り仕切り
- ・わんぱく相撲磐田場所・運営
- ・ジュビロ磐田杯争奪市民相撲大会・主催
- ・年間を通じて週数回の稽古

【この10年の主な活動報告】

〈平成11年度〉

高橋剛志（5年）と中村慶太（4年）が第15回わんぱく相撲全国大会に出場。第22回県少年相撲選手権大会において、上記2名と青島一路（6年）が準々決勝に進出県ベスト8となる。

〈平成12年度〉

第21回県小学生すもう大会において、江塚貴亮（4年）3位、中村慶太（5年）2位（東海大会出場権獲得）高橋剛志（6年）8位となり、団体の部で県3位となる。わんぱく相撲全国大会には上記3名が揃って出場。中学総合体育大会相撲競技では、城山中チームが第2位となり東海大会へ出場した。54回県民スポーツ祭相撲競技では高橋剛志が第2位となった。

〈平成13年度〉

第22回県小学生すもう大会において、中村慶太（6年）が3位となり、中村雅弘（4年）江塚貴宏（5年）の団体でも3位を獲得した。わんぱく相撲全国大会には、県大会2位となった中村慶太が出場した。

〈平成14年度〉

第23回県小学生すもう大会において、鈴木悠仁（4年）が優勝、東海大会出場を果たし、東海でも

県代表として活躍、県代表は団体3位となる。わんぱく相撲全国大会には、鈴木悠仁と松下俊輔（5年）が出場、東京両国国技館の土俵を踏んだ。第25回県少年相撲選手権大会では、原田翔太（6年）中村雅弘（5年）松下俊輔（5年）の磐田Aチームが3位となった。なお、第41回全国教職員相撲選手権大会には、伊藤幸広、山下幸一、内野時彦、杉浦弘の4名が審判員として参加した。

〈平成15年度〉

第24回県小学生すもう大会において、太田雅章（4年）が2位（東海大会出場）鈴木悠仁（5年）が3位となり、後藤喬雄（4年）、中村拓也（5年）、松下俊輔（6年）もベスト8に進出、団体戦で見事、県優勝を勝ち取った。わんぱく相撲では、太田（2位）、鈴木悠（5位）、松下（5位）が県予選を通過し、団体では3位となった。第19回わんぱく相撲全国大会では、太田、鈴木悠は2回戦、松下は1回戦で敗退した。太田雅章は、東海地区代表として、第52回全日本相撲選手権少年の部個人戦に出場したが、1回戦で敗れた。中学では、第23回県会長杯中学生相撲選手権大会において、3位となった高橋剛志が全国大会に出場した。

〈平成16年度〉

この年より磐田として初めて参加した第2回小学生木曾福島相撲大会において、太田雅章（5年）鈴木悠仁（6年）を擁し、団体で第2位となった。第25回県小学生すもう大会において、個人戦で太田が2位、鈴木悠も2位となり、4年生の中村大輔を加えた団体戦も準優勝を勝ち取った。わんぱく相撲全国大会には、上記3名が出場したが、鈴木悠は4回戦まで進んだ。なお、わんぱく女子の部で、鈴木結加利（4年）が県大会に出場した。

〈平成17年度〉

第3回木曾福島大会では、太田雅章（6年）が準優勝。第26回県小学生すもう大会においては、太田、中村大輔（5年）伊藤龍之介（4年）のチームが準優勝。わんぱく相撲大会では、太田が県優勝、伊藤が準優勝、中村も5位に食い込み、団体では見事優勝の栄冠を勝ち取った。全国大会には、太田、伊藤が進出、太田は全国ベスト16となった。第28回県少

年相撲選手権大会でも、太田が個人戦優勝、団体でも準優勝となった。太田は第5回全国小学生相撲優勝大会において準々決勝まで進んだ。中体連の大会には、松下俊輔（2年）中村拓也（1年）鈴木悠仁（1年）でチームを組んだが、上位進出はできなかった。また、この年は一般の部で久々に入賞者を得た。第40回県相撲選手権大会において、白澤隆志が青年の部個人戦で3位に入った。白澤は東海大会、2位の躍進力となった。なお、団体戦の磐田チームのメンバーは、白澤、太田雅弘、内野時彦。第59回県スポーツ祭相撲競技の部においても、白澤が優勝を飾るなど、磐田選手陣が大活躍した。当年度の「県番付」には小学生横綱として、当支部としては初めて太田雅章が選ばれた。盛大に祝賀会が湯川荘で催された。

〈平成18年度〉

第27回県小学生すもう大会において、中村大輔（6年）が3位となった。わんぱく相撲全国大会には、県大会で準優勝した中村、井田昇吾（4年）が出場した。県わんぱくは団体で2位。中1となった太田雅章の活躍は目を見張るものがあった。第26回県会長杯中学生相撲競技で3位、中体連県大会で優勝、県代表として東海大会、全国大会に出場した。この結果、1年生ながら、「県番付」の中学生横綱に輝いた。

〈平成19年度〉

第28回県小学生すもう大会において、伊藤龍之介（6年）が3位となった。わんぱく相撲大会でも、伊藤は県3位で全国大会に出場した。中2となった太田雅章は第27回県会長杯大会で優勝、（2年の中村拓也は5位入賞）中体連県大会でも優勝、東海、全国大会に進んだ。東京両国国技館で開催された全国都道府県大会ではベスト8まで勝ち残った。この結果、2年連続の県中学生横綱となった。祝賀会は袋井支部と合同で周南中学全国優勝を祝う会を兼ね、上海飯店で催された。なお、この年より、ジュピロ杯市民相撲大会とわんぱく相撲磐田場所は、磐田JCとの合同開催となった。

〈平成20年度〉

第29回県小学生すもう大会において、平野昌希（3年）が優勝、八木裕真（1年）が準優勝。わんぱく相撲全国大会の出場は果たせなかったが、低学年に新しい芽が生まれた。中3となった太田雅章は、県内敵なし、すべての県大会で優勝した。中村大輔（中1）も会長杯で3位、中体連で6位に入った。太田は、東海大会3位、全国都道府県ベスト8にと

どまったが、最後に歓喜が待っていた。第33回全国中学生相撲選手権大会において、強敵を撃破、優勝杯を手にし見事全国中学生横綱となった。その祝賀会は当支部主催により、磐田グランドホテルにおいて、磐田市長を初め来賓、県内相撲関係者など140名の出席の元、盛大に開催された。

なお、永井明慶（磐田南高教員）は、県国体相撲チームの一員として連続出場している。



祝賀会終了後、太田雅章君（中央・拳を挙げている）を囲み記念撮影。太田君家族と磐田市相撲連盟関係者

